

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公表番号】特表 2006-514990 (P2006-514990A)

【公表日】平成 18 年 5 月 18 日 (2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報 2006-019

【出願番号】特願 2005-508608 (P2005-508608)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/26 (2006.01)

A 6 1 K 38/28 (2006.01)

A 6 1 P 3/08 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 M 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/28

A 6 1 K 37/26

A 6 1 P 3/08

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 M 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 17 日 (2007.4.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒトまたは他の哺乳類における糖尿病の制御および低血糖の予防に治療上有効な量のインスリンおよびグルカゴンを含む薬学的処方物。

【請求項 2】

ヒトまたは他の哺乳類において糖尿病を処置するための薬学的処方物であって、糖尿病の制御に治療上有効な量のインスリンおよび低血糖の予防に治療上有効な量のグルカゴンを組み合わせることによって処方され、該インスリンおよびグルカゴンは、互いに 1 2 時間以内に投与されることが意図される、薬学的処方物。

【請求項 3】

前記インスリンとグルカゴンが別々に投与される、請求項 2 に記載の薬学的処方物。

【請求項 4】

インスリンとグルカゴンが、互いに 1 分から 4 時間以内に投与される、請求項 2 に記載の薬学的処方物。

【請求項 5】

インスリンで処置されており、低血糖症状を患っていない糖尿病患者において、低血糖を予防するための薬学的処方物であって、低血糖の予防に治療上有効な量のグルカゴンを含む、薬学的処方物。

【請求項 6】

前記グルカゴンが、前記患者が最後にインスリンを投与されると同時、あるいは投与後

1 分から 4 時間以内での投与に適している、請求項 5 に記載の薬学的処方物。

【請求項 7】

インスリンとグルカゴンの両方を含有する注入ポンプ。

【請求項 8】

前記インスリンが、非経口投与に適しており、前記グルカゴンが、経口投与、眼投与、経鼻投与、肺投与、非経口投与、および経皮投与からなる群から選択される投与経路による投与に適している、請求項 2 に記載の薬学的処方物。

【請求項 9】

前記グルカゴンが、経皮投与に適している、請求項 8 に記載の薬学的処方物。

【請求項 10】

前記グルカゴンが、より長い作用持続時間を有するグルカゴンである、請求項 8 に記載の薬学的処方物。

【請求項 11】

前記処方物が、同時投与に適しているインスリンとグルカゴンの両方を含む、請求項 2 に記載の薬学的処方物。

【請求項 12】

前記グルカゴンが、リボソーム処方物に含有されるのに適している、請求項 8 に記載の薬学的処方物。

【請求項 13】

前記グルカゴンが、マイクロスフェアに含有されるのに適している、請求項 8 に記載の薬学的処方物。

【請求項 14】

前記インスリンが、非経口投与、経口投与、眼投与、経鼻投与、肺投与、および経皮投与からなる群から選択される投与経路による投与に適しており、前記グルカゴンが、非経口投与、経口投与、眼投与、経鼻投与、肺投与、および経皮投与からなる群から選択される投与経路による投与に適している、請求項 2 に記載の薬学的処方物。

【請求項 15】

前記インスリンと前記グルカゴンの両方が、非経口投与に適している、請求項 14 に記載の薬学的処方物。

【請求項 16】

前記インスリンおよび前記グルカゴンが、患者への薬物の投与を制御するポンプに含有されるのに適している、請求項 15 に記載の薬学的処方物。

【請求項 17】

インスリンで処置されている糖尿病患者においてインスリン誘発性低血糖の危険性を低下させるための薬学的処方物であって、グルカゴンの基礎補充用量を含み、該グルカゴンは、低血糖症状を患っていない患者への投与に適している、薬学的処方物。

【請求項 18】

前記グルカゴンが、前記患者がインスリンを投与されると同時、または投与後 1 分から 4 時間以内に投与されることが意図される、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 19】

前記グルカゴンが、皮下経路、筋肉内経路、または静脈内経路による非経口投与に適している、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 20】

前記患者が、 $70\text{ mg/dL} \sim 110\text{ mg/dL}$ の血中グルコースレベルを有する、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 21】

前記グルカゴンが、より長い作用持続時間を有するグルカゴンである、請求項 19 に記載の薬学的処方物。

【請求項 22】

前記グルカゴンが、リボソーム処方物に含有されるのに適している、請求項 19 に記載

の薬学的処方物。

【請求項 23】

前記グルカゴンが、マイクロスフェアに含有されるのに適している、請求項 19 に記載の薬学的処方物。

【請求項 24】

前記グルカゴンの基礎補充用量が、少なくとも 0.1 ng/kg/分 、多くて 3.00 ng/kg/分 の速度でのグルカゴンの静脈内注入によって達成される範囲で血漿グルカゴンレベルを生じる、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 25】

前記グルカゴンが、毎日就寝前に投与されることが意図される、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 26】

前記患者が、少なくとも 50 mg/dL の血中グルコースレベルを有する、請求項 17 に記載の薬学的処方物。

【請求項 27】

インスリンで処置されている糖尿病患者においてインスリン誘発性低血糖の危険性を低下させるための薬学的処方物であって、糖尿病処置レジメンの一部としてグルカゴンを含み、該グルカゴンは、毎日就寝前に投与されることが意図され、該患者は低血糖症状を患っていない、薬学的処方物。

【請求項 28】

前記患者が、 $70 \text{ mg/dL} \sim 110 \text{ mg/dL}$ の血中グルコースレベルを有する、請求項 27 に記載の薬学的処方物。

【請求項 29】

前記患者が、少なくとも 50 mg/dL の血中グルコースレベルを有する、請求項 27 に記載の薬学的処方物。

【請求項 30】

投与されるグルカゴンの用量が、少なくとも 0.10 ng/kg/分 、多くて 5.00 ng/kg/分 の速度でのグルカゴンの静脈内注入によって達成される範囲で血漿グルカゴンレベルを生じる、請求項 27 に記載の薬学的処方物。

【請求項 31】

投与されるグルカゴンの用量が、少なくとも 0.10 ng/kg/分 、多くて 3.00 ng/kg/分 の速度でのグルカゴンの静脈内注入によって達成される範囲で血漿グルカゴンレベルを生じる、請求項 30 に記載の薬学的処方物。